

前枚方市議会議員 改革系無所属

駅前配布版 第97号(通算126号)
平成28年2月発行

かじや知宏 市政報告



<生年月日>昭和43年9月12日 <年齢>47歳 <出身地>大阪府枚方市 <趣味>読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り <血液型>O型
<経歴>阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

<自宅>〒573-0171 枚方市北山1-23-57

電話 090-3705-9393

Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ
<http://www.t-kajiya.com>

職員の給与引き上げが賛成多数で可決 市長・市議会議員もボーナスアップ

市の財政状況や市内事業所の実態を反映した給与改定を



枚方市議会の12月議会で、市職員の給与改定と市長・市議会議員等の特別職のボーナスを増額する条例改正案が上程され、いずれの議案も賛成多数で可決されました。今回の改正は、昨年的人事院勧告(人勧)に準ずる形で行われたものです。人勧とは、国家公務員の給与等について民間との是正を図るために行われるもので、50人以上の従業員がいる民間事業所を対象に実施した給与実態の調査結果が、勧告の基準となっています。

平成26年の12月議会でも同様の議案が提案されましたが、私は人勧に準拠した給与増額には反対をしました。26年版枚方市統計書によると、市内民間事業所1万102のうち従業員50人以上の事業所は353で全体のわずか3.5%にすぎず、人勧が本市の民間事業所の実態を正確に反映しているとは言えません。人勧に準拠することで、東京中心の大企業との均衡は図れるかもしれませんが、それは決して本市における社会・経済的実態を反映したものではありません。今回、大阪府は財政難を理由に、職員の給与を引き上げないという判断をしました。これにより年間約100億円の財源が見込まれるとのこと。今後、枚方市においても、市の財政状況や地元民間事業所の給与実態などを反映した本市独自の基準によって、給与改定を判断するべきと考えます。また、市長や市議会議員については、公選職という性質上、給与・報酬は独自の基準で決めるべきであり、人勧を基準に決めることは適当ではありません。今回、伏見市長は市長報酬を2割カットするとの公約を掲げていたにも関わらず、これまでと同様に人勧に準じて自らのボーナスを引き上げました。この判断について、私は大いに疑問を感じますし、市民の理解を得られるとも思いません。説明責任を果たすとともに、一刻も早い公約の実現を望みます。

税金の流れの透明化

ムダの排除

既得権の見直し

市民の手に税金と政治を取り戻します!!

活動の詳細はホームページをご覧ください

かじや知宏

で 検索



ブログのQRコード



tomohiro.kajiya



@kajiya_tomohiro

※フェイスブックとツイッターのアカウントを開設しています。

駅前報告を行っています

～570回継続中～

一人でも多くの市民の方に市政情報をお伝えしたいという想いから、午前6時20分頃～8時30分頃に駅前「市政報告」の配布を行っています。